

第4段階：ガリラヤにおける大宣教
J. イエスはガリラヤ周辺の異邦人地域へ退かれる
デイリー・ジーザス・ニュース #124

4. イエスに要求に応じてしるしを行うよう求める二度目の罪深い要求
マタイ16.1-4（並行テキスト：マルコ8.11-13）

1 マタイ伝パリサイ人とサドカイ人がイエスのもとに来た Mはあなたと議論を始めた、 MTそして、天からのしるしを見せてくれるように彼に頼んで、彼を試した。2 M彼は霊の中で深くため息をつき、 MTは答えた、

「夕方になると、あなたは『空が赤いから、天気がよくなるだろう』と言う。そして朝には、「今日は嵐になるだろう。空は赤く曇っている。」 あなたたちは空の様相を解釈する方法を知っているが、時の兆候を解釈することはできない。

4 「邪悪で不義な世代はしるしを求めるが、 まことに 私はあなたに言います、 MTヨナの印以外には、誰にも与えられません。」

イエスは彼らを離れて Mは再びボートに乗り込み、 MTは湖の反対側へ行っていました。

=====

注: 私たちは「混合テキスト」の原典福音書を次のように上付き文字で識別します: マタイ = MT、マーク = M、ルカ = L、ヨハネ = J、使徒行伝 = A。この「上付きID」は引用文の冒頭に挿入され、別の上付き文字が現れるまでその聖書を識別します。さらに、 *イエスの言葉は赤いイタリック体で書かれています*。旧約聖書の引用は大文字で書かれています。

コンテキストダイジェスト	
位置	ガリラヤ湖南西岸のダルマヌタにあるマガダン
タイムライン	5月～6月（27月または28月）
イエスの生涯の文脈	第4段階：ガリラヤにおける大宣教
	J. イエスはガリラヤ周辺の異邦人地域へ退かれる
タイトル	4. イエスは、要求のしるしを行うという二度目の罪深い要求を拒否する

コメント：

イエスは4000人の異邦人に食事を与えた後、再び船でガリラヤ湖を渡り、南東岸から西岸のガダラ地方まで行きました。イエスがなぜこの旅をされたのかは分かりませんが、そこで何が起こったかは分かっています。

第4段階：ガリラヤにおける大宣教

J. イエスはガリラヤ周辺の異邦人地域へ退かれる

ガリラヤ地方へのこの日帰り旅行は、イエスに、なぜこの地域から撤退したのかを痛切に思い知らせるものでした。パリサイ人とサドカイ人はすぐにイエスのもとにやって来て、イエスがメシアであることを証明するために「しるし」、つまり要求に応じて奇跡を行うよう、またしても罪深い要求をしました。イエスはそれを「邪悪で姦淫的な」要求と呼びました。なぜこの要求はそれほどまでに不快だったのでしょうか。

イエスは2ヶ月前にガリラヤでの宣教を終える際、パリサイ人の根本的な問題は偽善にあると指摘されました。彼らがしるしを見たいという当時の要求は不誠実であり、したがって偽善的でした。彼らがここで二面性を持っていたと、どうしてわかるのでしょうか。

まず、イエスは18ヶ月間ガリラヤで「しるし」を絶え間なく行っていました。彼らはそれをサタンの仕業だと考えていました。彼らは次々と奇跡を目撃しましたが、それでも十分ではありませんでした。なぜなら、彼らはイエスの真実を本当に知ろうとはしていなかったからです。彼らは既にイエスが悪魔と結託していると思い込んでおり、それを覆すつもりはありませんでした。もしイエスが彼らが求めていたしるしを与えたとしても、彼らはただそれ以上を求めるだけだったでしょう。

第二に、聖書はパリサイ人とサドカイ人がこの要求をするために協力したことを指摘しています。この二つのグループは信仰において相容れないものでした。彼らは常に互いに反対し、常に敵対し合っていました。彼らが協力してイエスにこの要求を持ちかけたのは、イエスを滅ぼしたいという共通の願望があったからです。しるしを求める彼らの要求は、イエスの信用を失墜させるための策略に過ぎませんでした。

最後にイエスは、「ヨナのしるし」こそが、神から与えられた、イエスを信じる信仰の根拠であることを彼らに思い起こさせました。イエスの奇跡は、イエスの死と復活に比べれば、彼がメシアであることを示すよりはるかに小さな啓示でした。もし彼らのしるしを求める要求が真摯なものであったならば、ユダヤ人の指導者たちはイエスの復活後、イエスをメシアとして信じたはずでした。しかし彼らは、それが歴史的事実となった後も、その現実性を否定し続けました。

イエスは無条件の愛と慈悲の心で敵を受け入れ、彼らに願いを述べる機会を与えました。たとえ彼らとその欲望が罪深いことを御存じであってもです。神はまさにそのような方です。三位一体の神は、文字通り何十億もの利己的で邪悪な願いや欲望を日々耐え忍んでいます。それでも神は罪人一人ひとりを深く思いやり、私たちの髪の毛の数、心の思いや欲望までも把握しておられます。神はこのように私たち一人ひとりを愛しておられるのです。

イスラエルの指導者たちの強硬な態度を思い起こさせるこの出来事は、イエスがガリラヤに足を踏み入れたその日に、周辺地域へ撤退するという以前の決断を確認するものとなりました。翌日、イエスはガリラヤ湖を渡って北東の岸へ戻り、急いで北方の異邦人の地域へと戻りました。イエスは、邪悪で姦淫に満ちた拒絶に対する抗議として、再び足についたガリラヤの塵を払い落とされました。

応用：

イエスの死、復活、そして天への昇天の後、イエスを信じる私たちは、イエスが神の子であるという究極の証をすでにしっかりと手にしています。神がご自身を私たちに明らかにするために、これらの証以上に偉大

第4段階：ガリラヤにおける大宣教

J. イエスはガリラヤ周辺の異邦人地域へ退かれる

なことは何ともありません。これは、イエスが北への旅の途中で弟子たちに間もなく告げる言葉です。イエスは弟子たちに、ご自身の飢えと復活について教え始めるでしょう。

福音書は、イエスの死と復活の重要性を強調するために書かれました。私たちは日々イエスに従うための糧として、十字架への信仰をしっかりと固める必要があります。

あなたは、自分の信仰の原動力として、毎日「ヨナのはるし」をどのように捉えていますか？

今日は十字架についてどのように瞑想しますか？